

要約

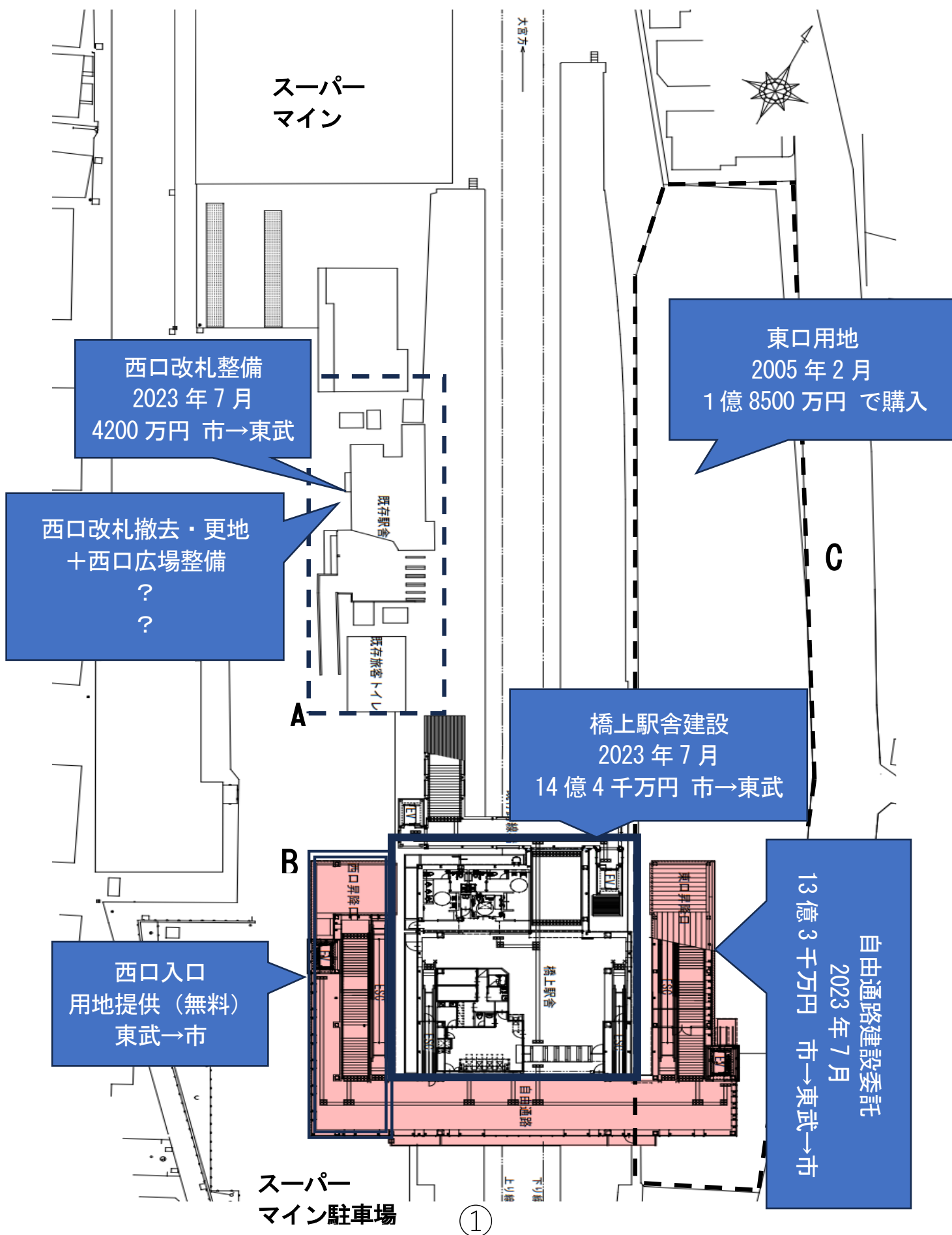
市民要求の実現 議会・行政の課題を共有し、市民の
願う新しい政治へのスタート

takashi70612@yahoo.co.jp

議会報告

2023年第1回定例会

20230715 日本共産党 流山市議 おだぎりたかし



□初石駅の課題

- ①企業バスの縦列…駅利用者との動線、待機場所の確保（降雨時も）
- ②西口入口の狭隘さ・現在改札口より不便さ…狭隘、
- ③東側広場…自動車待機、ごみ投棄、車の流入

※引き続き、複数年を見通した提案、要請が必要

□物価・電気代の高騰対策

補正予算で実現した経済対策	事業費
子育て世帯への支援 (0才～就学前児童は市独自策)	4億3338万円
家電買替支援（節電型）	1億4126万円
障害者・介護の事業所支援	1億1499万円
私立保育園等の支援	7830万円
学校給食の食材支援 (保護者負担の据え置き)	6629万円

- ①中小零細事業者への支援…アンケートで状況把握＋支援制度へ協議スタート
- ②高校2・3年生への支援
- ③水道料金の引き下げなど全世代的規模での取り組み

□おおたかの森北 3つの交差点（○）に右折信号機設置＋
おおたかの森北東自治会地域では、市内で初の「ゾーン30+」もしくは、市内
区画整理区域内で初の「ゾーン30」に向け、協議中

↑流山警察

スーパー
ベルタ

おおたかの森
駅

→初石駅

親愛幼稚園

豊四季
霊園

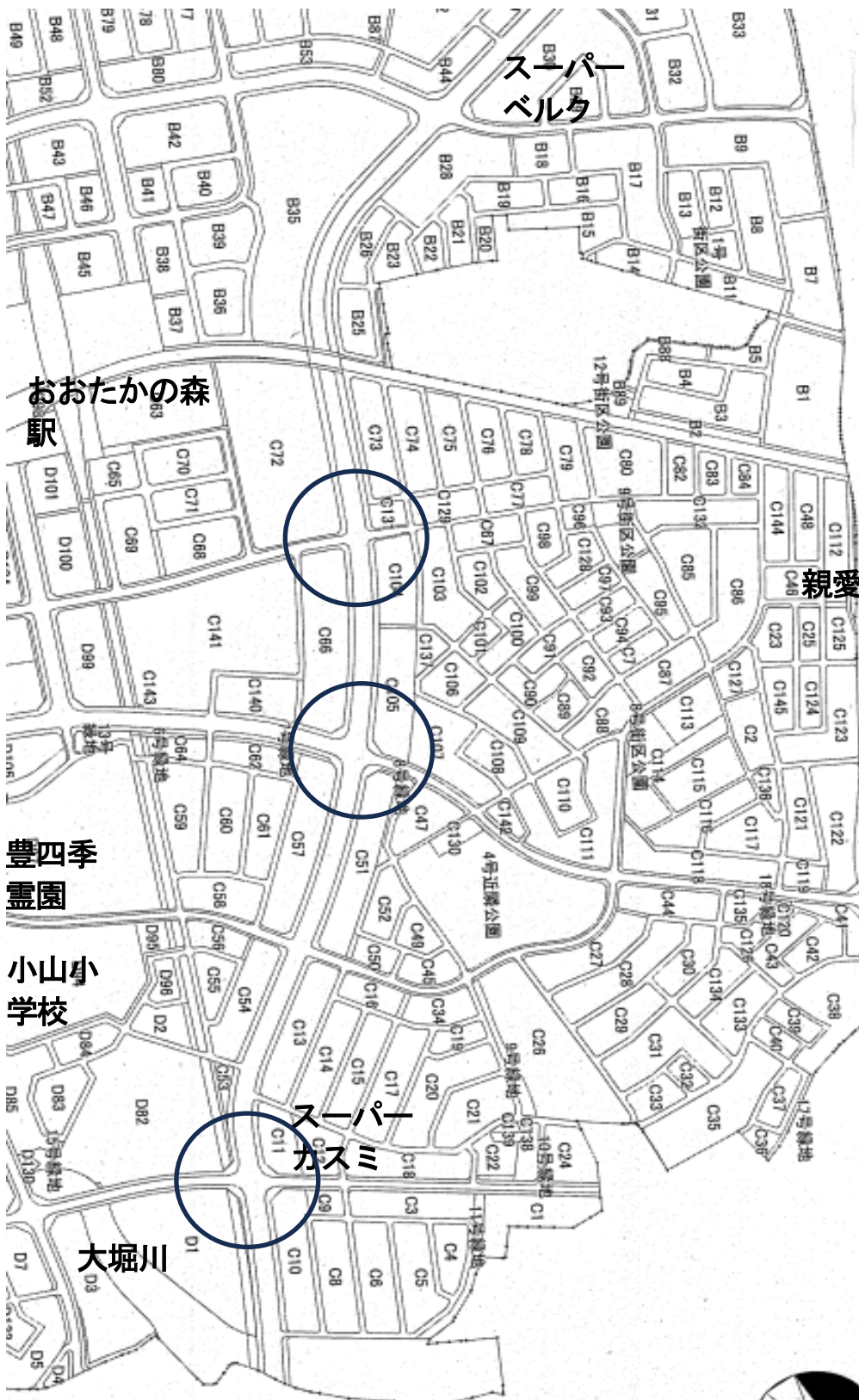
小山小
学校

スーパー
ガスト

大堀川



至つくし



2023年第2回定例会 星取表

会派	結果	日本共産党										流政会										自民党		公明党			流山みらい				
		乾	高橋	植田	小田	小沢	鈴木	矢口	川本	渡辺	近藤	石原	坂巻	笠原	青野	中川	海老原	桑畑	岡	戸辺	野村	宇田	清水	西尾	楠山	中村	藤井	森田	阿部		
議員名 ○賛成 ×反対 一棄権 ※議長は表決に参加しない。		えり	光	和子	仙	えみり	うすけ	美	大岳	仁二	美保	修治	儀一	久恵	直	弘	功一	伴子	明彦	滋	誠	桜子	大	段	栄子	彰男	俊行	洋一	治正		
白みりんミュージアム建設工事 請負契約の締結について	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
核兵器禁止条約への署名・批准 を国に求める請願書	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
学校給食の完全無償化の実 施を求める 請願書	不採択	①完全無償化	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		②有機農産物の 使用拡大	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物産高騰など生活保護費の引き 上げを求める意見書提出を求め る陳情書	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
インボイス制度の延期・見直しを 求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

インボイス制度…2021年第1回定例会では意見書否決、なぜ可決したのか？

マイナンバーカード

ジェンダー平等：年度中にファミリーも含めたパートナーシップ制度導入

救急医療・病床：「平成27年時点、人口10万に当たりの市内病床数は県平均と比較し332床少ない状況と比較し、令和元年10月実時点で、市内病床数578床で、県平均980床と比較し、402床少ない」、「救急体制に対し、市として補助金等を交付してきたが、病床の拡大につながっていない」と認める。

※「第1次救急」平日夜間（19～21時）・休日（9～17時）診療所（保健センター内・開業医対応）の時間単価は2万8123円

「第2次救急」市内三病院の時間単価8643円＋平日夜間（21～翌8時）の時間単価1万3750円

「小児夜間（21～翌8時）救急」東葛病院の時間単価6667円（年間総額2684万円）

バス交通：ぐりーんバス料金改定の意見募集・党市議団は条例案を準備

請願・陳情、議案…討論から考える

核兵器	共産党賛成討論以外…ナシ（全国659議会が意見書可決）
給食・「無償化」	共産、社民の賛成討論以外…流政会：経費、給食だけに特化すべきではない。国・県一体で進めるべき。
給食・「有機野菜使用」	共産、社民の賛成討論以外…流政会：経費、生産が追い付かない（生産者がいない）、給食だけに特化すべきではない

白みりんミュージアム建設 議案	<p>立憲：賛成。将来の交流人口増加を考えて、先行投資するという考え方は良いと思う。ただ、このような施設は、整備と同時に土産や付帯サービスといったソフトの部分、運用の体制、顧客ターゲットと観光商品、リピーター確保と、整備後たくさんの重要課題があると考えます。したがって、マーケティング戦略の充実と役割分担について、強く要望し、賛成する。</p>
	<p>流政会：賛成。令和6年度内に開館予定の白みりんミュージアムの工事にあたっては、工事車両の出入りが増えるため、少なくとも交通安全については万全に対策をお願いしたい。答弁では、工事車両の出入りは原則、県道側にされるとのことですが、これまでの経験から、万上通りにも入ってくる可能性がある。近隣に流山小学校があり、通学路にもなっており、近隣住民からも心配の声が聞こえている。</p>

	<p>また、白みりんミュージアム建設の話を「知らない」という住民の声も多い。地域住民にしっかりと情報共有した上で、不安の声に対する対策を怠らないよう指摘する。</p> <p>工事請負費は4億4,220万円と多額である。今後は施設活用の企画、運営などを組み立てていく段階になると思うが、他自治体の事例を調査し、「一度訪れたら満足してしまう施設ではなく、何度も訪れ遊びに来たい施設」、そして「稼げる」、「集客に実績のある施設」を研究していただきたい。また、市は建設したら終わりではなく、運営者と行政が協力し、一緒に取り組んでいただくよう強く要望し、賛成する。</p>
	<p>共産：反対。物価高騰の折、市民生活最優先という市民の願いからも、福祉の増進という地方自治法の本質からも、今、すべきことではなく、少なくとも凍結・延期すべき内容と考える。</p> <p>とりわけ、一般的な商業店舗の建築費を構造別に見てみると、鉄筋コンクリート造の場合でも、一坪当たり121万円、木造</p>

の場合は一坪当たり57万1千円程度となっている。それに対して、木造平屋建ての白みりんミュージアム建設工事は一坪当たり227万9千円と高額な事業費となっている。しかも、鉄筋コンクリート造・免震構造の消防本部新設の坪当たり223万9千円と比較しても、高額な経費投入は考えられない。これは、市民生活から考えても、優先順位が逆立ちしていると言わざるを得ない。また、歴史的に200年以上という白みりんの文化でも、市民生活の隅々に根付いているわけでもなく、身近に感じているわけでもないので、上滑りしている感が否めないと考えている。

ましてや、ライフサイクルコストとして年間維持費も現時点では、試算を発表できない状況であるので、20世紀に廃れた箱モノ行政の復活でしかないと捉えている。

交通弱者支援策	議案提案の準備
---------	---------

【背景】高齢化の進展、免許返納者の増大など公共バス交通だけでは市域全体をフォローできない。バス運転手の確保困難。病院通院バス（赤字）の利用にも、市民（有償）ボランティアにも限界。福祉タクシー制度の拡充（1乗車当たりの利用枚数を1枚限定から複数枚利用できるように。枚数の増刷（重度障害者月6枚、透析患者月8枚（暫定26枚））

【条例化する根拠・理由】

- 1) 規則：制度内容の改変・廃止する場合、議会承認は不要。
- 2) 現行の制度（事務量・制度の複雑・多忙化を避ける）や資源（運転手・車両の維持・確保）を最大限生かす。
- 3) 免許返納者が民間バスを利用する際、料金が半額となる制度が今年度スタート（ただし、期間は2年間、民間バスルートに限定。75歳以上2万5千人のうち、1割程度が利用見込み）。
- 4) 高齢者限定の病院通院バスの利用復活（7月から全コース）。
- 5) 年度途中でも、福祉タクシー券・自家用車両の燃料補助どちらでも選択・変更可能（制度改正）

【条例化のポイント】

- 1) 重度障害者限定の福祉タクシー券制度（規則）を条例化する。
- 2) 対象は、重度障害者（身体・知的・精神）に加え、75才以上の高齢者（免許返納証明書の有、ぐりーんバス・民間バスが走っていない地域、市長が認めた場合）
- 3) 配布枚数は、重度障害者月6→8枚、透析患者月8→26枚、75才以上の高齢者月8枚
- 4) 1乗車利用枚数は、1→最大3枚（予約・送迎時の料金にも使用可）